

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月19日(水)	9:30~10:00	開講あいさつ
	10:00~10:45	オリエンテーション
	11:00~12:00	美術館と学芸活動
	13:00~14:00	所蔵作品展見学
	14:00~15:00	館内見学
	15:00~16:00	ミニ企画展実習(1 概論)
8月20日(木)	9:30~12:00	作品取扱い実習・調書作成(平面)
	13:00~16:00	作品取扱い実習・調書作成(立体)
8月21日(金)	9:30~10:30	「忘れえぬロシア」展見学
	10:30~12:00	展覧会を取材する(館内取材・短評作成)
	13:00~14:00	ミニ企画展実習(2 企画—討議)
8月22日(土)	9:30~12:00	館外施設見学
	13:00~16:00	ミニ企画展実習(3 企画—立案)
8月24日(月)	9:30~12:00	ミニ企画展実習(4 企画—集約)
	12:00~16:00	ミニ企画展実習(5 企画—制作)
8月25日(火)	9:30~12:00	ミニ企画展実習(6 企画—制作発表準備)
	13:00~14:30	ミニ企画展実習(7 発表)
	15:00~16:00	受講生ディスカッション

受入先

尾道大学、関西学院大学、広島女学院大学、立命館大学、金沢美術工芸大学、比治山大学、県立広島大学、広島大学、広島市立大学

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、所蔵作品によって特別展を企画する、という課題にとりくんだ。人文系、芸術系など異なった専攻の学生から出されたアイデアが融合されることによって、各班が個性的な企画を提案した。分野が偏ることなく、西洋美術、日本の洋画、日本画、工芸とすべての班が異なる分野を取り上げたことが印象的であった。提案された展覧会名、出品作品は次のとおり。

①	見上げる大画面～迷い込んだ美術館～ サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、ジャン(ハンス)・アルプ《目覚め》、ジュリオ・ゴンザレス《鏡の前の女》
②	広島の移り変わり展—広島の“キセキ”— 作者不詳《厳島図屏風》、小林千古《広島夏の川》、檜山武夫《陸橋》、丸木位里《竹林》、平山郁夫《広島生変図》
③	模様から見る世界 志村ふくみ《紬織着物 枝垂桃》、芹沢銈介《風の字のれん》、ウズベキスタン《チャパン》、インドネシア《影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)》、中央アジア《刺繍布(スザニ)》
④	和高節二の愛した子どもたち展 和高節二《母子》、《田植時》、《村の子供》、《石崖》

(統括担当者：石橋健太郎)